
名の無い少女の歌

闇桃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名の無い少女の歌

【Nコード】

N4192H

【作者名】

闇桃

【あらすじ】

名前を付けられていない少女がいた。彼女はつい一ヶ月前に左腕を骨折し、入院中。歌を歌いながら外を見る、そんな生活を繰り返していた。彼女が思う事とは？

第一話

嗚呼、この空を華麗に舞いたい。
何度そう思った事か。何度願った事か。

星になりたい。

幾度もそう願ってきた。望んできた。
私に翼があるのなら、空を飛びたい。
この窮屈な病室から、抜け出したい。
痛い、いたい、イタイ…！

暑さも寒さも悲しみも苦しみも忘れ。
ただ独り、私は歌う。

梅雨も明け、光がさんさんと病室に降り注ぐ。

もうそろそろ退院できるかな。私は痛みの落ち着いた腕を見て思う。

こうなったのは、約一ヶ月程前。

家の屋根から落ちて、左腕を骨折してしまった。

勿論お母さんとお父さんに散々怒鳴られたし、その分沢山看護してもらった。

これが親子の絆というものか。私はどれだけ感謝をしただろうか。

友達も来てくれた。あるときは病室でパーティーも開いた。

看護婦さんに怒られたっけ…思い出すと何だか笑えてきてしまう。

今日もまた、変わらない毎日を送る。

この生活は後何日だろうか？

鳥が、草花が、共に歌ってくれる。

見事にハモっているその音は、心地よくて。

だから、癖になるんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4192h/>

名の無い少女の歌

2010年10月26日05時33分発行